

石狩地区 新規就農者紹介



【就農までの経緯】

幼少期から農作業を手伝っており、いつかは父の農場を継ぐのだろうと漠然と考えていました。大学卒業後、ホクレン農業協同組合連合会に就職し、旭川で5年間、肥料・農薬の営業担当を務めました。父がJAの役員となって忙しくなり、父から就農の話を持ち掛けられましたが、前職でやりたいことがあったため、すぐには就農せず、1年後に決断しました。

【就農して感じたこと】

就農して1年目は、休みの少なさに大変さを感じました。特に、休みが定期（土曜・日曜）から不定期（雨の日）に変わったことにギャップを感じました。今は、冬を楽しく過ごすために、春から秋は頑張り時だと考えています。

前職の営業と比較して、話し相手がいないうちに寂しさを感じました。そのため、自身が役員を務める新篠津村クリーン米生産組合や農協青年部の方々との関わりを大切にしています。

長屋 嬉樹 さん（新篠津村）

就農年：2023年4月（親元就農）

経営形態：水稻作と畑作との複合経営

作物：水稻、小麦、大豆

【就農後の営農】

父がJAの常勤役員のため、主に自身と母の2人で作業をしており、繁忙期には祖父の手も借りています。1年を振り返った際にもっとやりたかったこともあります。人手が足りていないため取り組めずにいます。

就農し、父親の存在が父から上司に変わりました。就農2年目となり、父から指示されることが少なくなったと感じています。

全てを父親から受け継いだとおりにするのではなく、農薬の防除体系を工夫しコスト計算もした上で一部を変更するなど、自分の考えも取り入れています。

スマート農業にはまだ着手していませんが、導入については検討したいと思っています。しかし、就農して3年間は機械の運転技術等を身に付けるために機器に頼らず自力で作業していきたいと考えています。特に収穫は年1回の大イベントなので自分の手で行いたいと思っています。田植機の自動操舵を取り入れると自分一人で作業でき、楽をすることができます。しかし、スマート農業は楽をするために導入をするのではなく、労働生産性の向上に繋がるのであれば導入したいと考えています。また、スマート技術でなくても、水稻の密苗栽培を取り入れ、作業の効率化を図っています。



【納屋の入口】



【整理整頓された納屋内】



【ほ場の説明をする長屋さん】

【新篠津村と米づくり】

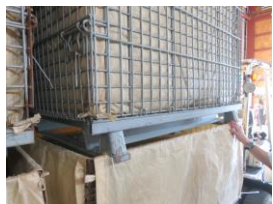
新篠津村は、村長も村議会議長も農家出身で、農業に理解のある村です。また、平たん地で基盤整備も進んでいるので、米をつくるのに恵まれた環境だと感じています。



米価高騰で外国産米が輸入されていますが、消費者には日本の米を食べたいと思っています。また、日本の米を食べなければどのような影響が出るかを考えて欲しいです。日本人の主食である米について、多くの人に関心を持ってもらいたいです。

【就農して苦労したこと】

前職では肥料や農薬を扱う仕事をしていましたが、就農して実際に農薬を使用したところ、雑草が増えてしまうという経験をしました。知識と実践の違いを実感しました。現在は、肥料や農薬を使用するタイミングなど経験を積んでいるところです。



【小麦が入ったフレコン】



【収穫された小麦】



【雨不足で例年より小さな小麦】

【地域との関わり合い】

人付き合いはあまり得意ではないですが、新篠津村は小さな村なので人間関係を大切に、地域の方と良好な関係を保っています。

村内に親元就農した同級生は3名おり、昔からの馴染みの仲なので取りたてて農業の悩みなどはあまり話しませんが、何かと心強い仲間です。

【オフタイムの過ごし方】

天気予報を見てスケジュールリングをするなど、できる限り休みが取れるように働き方を工夫しています。

11月～3月の冬の期間は、前職の経験を活かして、ホクレンからの委託で農薬の推進員として雇用してもらい、週4日程度、農協職員と一緒に生産者のもとを回っています。

休みの日は、趣味の野球をしたり、妻と一緒に温泉に行ったりします。

【今後の展望】

現在は家族経営ですが、法人化も視野に入れています。また、施設園芸にも興味があるので、今後検討していきたいです。

新篠津村の栽培面積の平均は23haですが、今後は就農者の減少により40～50haに拡大していくことが見込まれます。このため、今の管理状況を変えずに営農ができるよう作業の効率化など細かいところを考えていきたいです。また、面積を拡大する前に収量を増やしていく必要があるとも考えています。



【就農を目指している方へアドバイス】

農家は特殊な仕事で、定期的に休みがある仕事と比べると働き方に大きな違いがあり、ギャップを感じます。休みたい気持ちよりもやることをやって給料をもらう意識をもって取り組むことでギャップを超えることができます。ギャップを超えるとやりがいを感じることができ、楽しさも感じられるようになります！

都会から田舎に来ると大きく環境が変わると感じられますが、周りの方々は世故に長けており、経営感覚に優れた方が多く、刺激を受けています。また、汚れる仕事と思われがちですが、整理整頓を心がける等、働き方次第できれいに働くこともできます！